



▼認知症患者の行動や特性などについての寸劇を鑑賞し、理解を深める受講者



## 認知症への理解を深めよう

宮内地区で認知症サポーター養成講座

2月9日（土）宮内集会所で、認知症サポーター養成講座が開催されました。

宮内地区社会福祉協議会（志免安喜会長）が主催。同会が毎年開催する役員研修の一環として行われ、21人が受講しました。

認知症サポーターとは、認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を見守り、支援する人のこと。厚生労働省が平成17年度から実施する「認知症を知り地域をつくる10か年」キャンペーンの一環で、現在、全国で360万人以上が養成され、本町でもこれまでに7

69人のサポーターが誕生しています。

同講座では、廣瀬真由美さん（桜の丘陵の家小規模多機能型居宅介護事業所）が講師を務め、認知症が発症する仕組みや、認知症患者の行動、特性などについて、寸劇を交えながら説明。受講者は「認知症についてわかりやすく学べました。家族や知人にも受講を勧めたいです」と話しました。

## 救急体制のさらなる強化

上益城消防本部で救急車の寄贈式

1月29日（火）御船町の上益城消防本部で、高規格救急自動車の寄贈式が開催されました。

高規格救急自動車とは、救急救命士による高度な処置が行える資機材を積載した救急自動車で、アステラス製薬(株)が同組合に寄贈。同社は、社会貢献活動の一環として、昭和45年から全国の消防機関に延べ225台の救急自動車を寄贈しています。

式典には、関係者約30人が出席。同組合は「今回寄贈いただいた救急車を有効に活用し、救急体制の強化に努めたい」と話しました。



▲アステラス製薬(株)から寄贈された高規格救急自動車



◀集落の歴史などについて講演された文化財研修会

## 区有文書で見る本町の姿

町生涯学習センターで文化財研修会

1月23日（水）町生涯学習センターで、文化財研修会が開催されました。

町教育委員会と県文化財保護協会が主催。「区有文書から見たムラの運営」と題して、県文化財保護審議会委員の佐藤征子さん（仁田子区）が講演し、約80人が参加しました。

佐藤さんは、本町が実施している町史編さん事業で収集した歴史的な記録や文書から、本町の集落の歴史などを説明。「文書を通して、数百年前の庶民の暮らしを知ることができる。最近では、電子媒体に記録されることが多いが、紙に記録して後世の生活に役立てることが大切」と話しました。

## スポーツ振興に寄附金

高崎健太郎後援会から「I・YOU」スポに

1月30日（水）町役場で、本町出身で、プロ野球・横浜DeNAベイスターズに所属する高崎健太郎投手の後援会（奥名克美会長）から、甲佐町総合型地域スポーツクラブ「I・YOU（アユ）スポーツクラブ」（作守純生会長）に寄附金が贈呈されました。

この寄附金は、昨年12月27日（木）に開催された同後援会の総会時に行われたオークションでの売り上げの全額。同投手は、スパイクやユニフォームなど、10点を提供しました。



▲高崎健太郎後援会から寄附金の贈呈を受けた作守会長



▲郡代表として12区10キロを走破した梅本競技者

## 上益城郡チームは6位

第39回郡市対抗熊日駅伝

2月10日（日）第39回郡市対抗熊日駅伝が開催されました。同大会は、熊本日日新聞社などが主催。天草市役所をスタートし、熊本市中央区のびぶれす熊日会館前でフィニッシュする105.5キロで争われ、19チームが出場しました。

郡代表として、本町からは梅本龍大競技者（熊本工高1年・和田内区）が12区10キロに出場し、33分9秒で走破。総合成績は、天草市が5時間25分34秒で優勝し、上益城郡は5時間35分29秒で6位でした。

梅本競技者は「力を出し切れず、納得いかない結果。来年は、エース区間を走ってチームに貢献したい」と話しました。

## 交流を通して人権問題を学ぶ

町民センターで「おとしよりと女性との交流会」



▲郡内の人権擁護委員による介護をテーマにした人権寸劇や、保健師による健康講話、2人1組で行うレクリエーションなどにより交流

2月19日（火）町民センターで、「おとしよりと女性との交流会」が開催されました。

周辺地域住民の交流を深め、人権問題についての正しい理解と認識を得ることを目的に、町が主催。白旗地区の住民など約70人が参加しました。

初めに、奥名克美町長が「インターネットの差別書き込みなどに見られるように、人権問題への間違った認識が、知らず知らずに人を傷つけています。町では、同和問題を始めとするあらゆる差別の解消に取り組んでいますので、今後とも皆さんのご協力をお願いします」とあいさつ。

続いて、郡内の人権擁護委員による介護をテーマとした人権寸劇を公演。その後、町総合保健福祉センターの保健師の指導の下、高齢者が毎日続けられる体操として考案され、「体が丈夫になる」、「続けていれば、自立のための大きな力になる」などの願いが込められた「上益城なるなる体操」を音楽に合わせて実践。2人1組で行うレクリエーションなどもあり、参加者は交流を深めました。